

2023年1月11日

メドトロニック、植込み型心臓デバイス初の遠隔プログラムを搭載した植込み型心臓モニタの販売を開始

日本メドトロニック株式会社（本社：東京都港区）は、原因が特定できない失神と潜因性脳梗塞の患者さんの診断に使用する植込み型心臓モニタ「LINQ II™（リンクツー）」の販売を2023年1月より開始した。

いつ起こるか分からない失神や、潜因性脳梗塞の主な原因の一つと言われる心房細動は、一般的に行われているホルター心電図検査や体外式ループレコーダーによる検査では検査時間が短く、検出し難いと言われている。植込み型心臓モニタを使用することで、失神が起きた際の心電図を確認し、潜因性脳梗塞患者さんに心房細動があるか調べることができ、心臓の病気に由来する症状なのか否かを医師が判断する手助けとなる。

LINQ IIは、患者さんが病院に通院することなく、遠隔でデバイス設定ができる遠隔プログラミングを初めて搭載した植込み型心臓モニタ。また、同機には、新たなアルゴリズムが搭載されており、不整脈の検出率向上とデータ解析時間の低減にチャレンジしている。

不整脈を検出する精度をより高めたことで、データ解析時間を低減し、医療従事者や患者さんの労務低減に大きく貢献できるとしている。